

# 社会人向け大学院 の検討状況

討議用資料

2013.08.27

大阪府市新大学構想会議委員 吉川

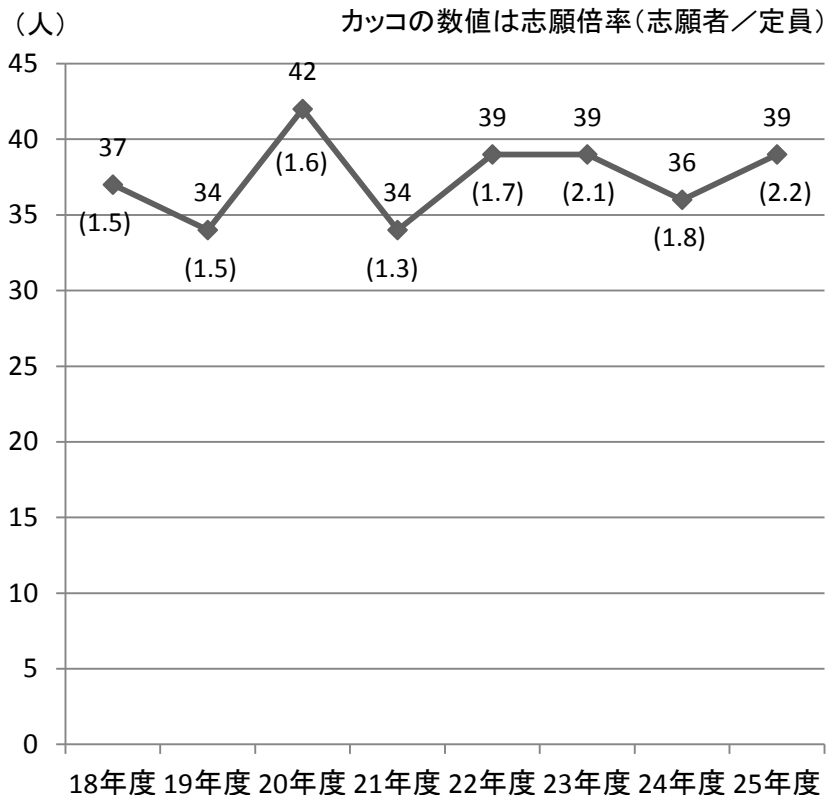
# 社会人向け大学院の現況(定員・志願者・入学者状況)

研究科名		専攻		H18	H20	H21	H22	H23	H24	H25	
府立大学	(社会人選抜のみ) 経済学研究科	経済学専攻 (前期博士)	志願者	9	4	4	9	7	5	4	
			入学者	7	4	1	6	4	3	3	
		経営学専攻 (前期博士)	志願者	45	52	41	52	65	57	50	
			入学者	30	38	33	33	35	33	25	
		観光・地域創造専攻 (前期博士)	志願者	—	—	—	—	—	—	22	
			入学者	—	—	—	—	—	—	11	
		府立大 小計		定員	<b>35</b>	<b>35</b>	<b>35</b>	<b>35</b>	<b>35</b>	<b>35</b>	<b>35</b>
				志願者	54	56	45	61	72	62	76
入学者	37			42	34	39	39	36	39		
市立大学	経営学 研究科	グローバルビジネス専攻 (前期博士) 社会人プロジェクト研究	定員	—	—	<b>10</b>	<b>10</b>	<b>10</b>	<b>10</b>	<b>10</b>	
			志願者	—	—	15	17	26	15	19	
			入学者	—	—	14	12	15	12	14	
	創造都市 研究科	都市ビジネス専攻 (前期博士)	定員	<b>45</b>	<b>45</b>	<b>45</b>	<b>45</b>	<b>35</b>	<b>35</b>	<b>35</b>	
			志願者	69	58	84	77	51	70	60	
			入学者	52	41	50	42	36	38	33	
		都市政策専攻 (前期博士)	定員	<b>45</b>	<b>45</b>	<b>45</b>	<b>45</b>	<b>50</b>	<b>50</b>	<b>50</b>	
			志願者	84	54	75	55	62	73	83	
			入学者	46	40	52	43	48	52	57	
	市立大 小計		定員	<b>90</b>	<b>90</b>	<b>100</b>	<b>100</b>	<b>95</b>	<b>95</b>	<b>95</b>	
			志願者	153	112	159	132	113	143	143	
			入学者	98	81	102	85	84	90	90	
合計			定員	<b>125</b>	<b>125</b>	<b>135</b>	<b>135</b>	<b>130</b>	<b>130</b>	<b>130</b>	
			入学実数	<b>135</b>	<b>123</b>	<b>150</b>	<b>136</b>	<b>138</b>	<b>138</b>	<b>143</b>	

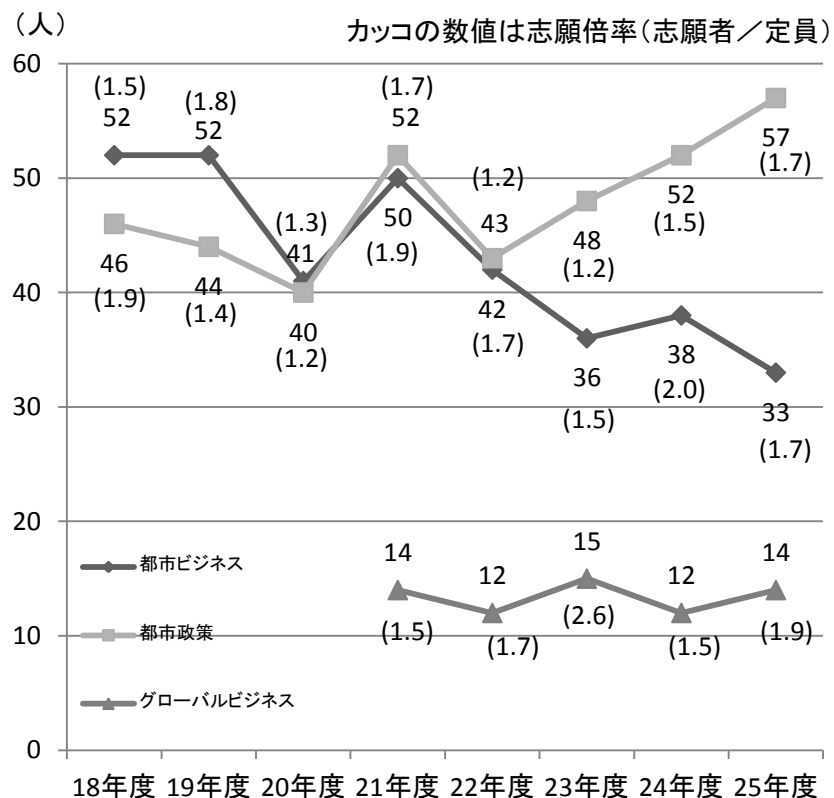
(備考) 市立大学創造都市研究科には、ほかに「創造都市専攻後期博士」「都市情報学専攻前期博士」があるが、この表からは除いている。  
市立大学経営学研究科は、平成20年度以前はプログラム内容が異なり比較できないため、空欄としている。  
府立大学観光・地域創造選考は、平成25年度から開講。

# 両大学の社会人大学院 入学者

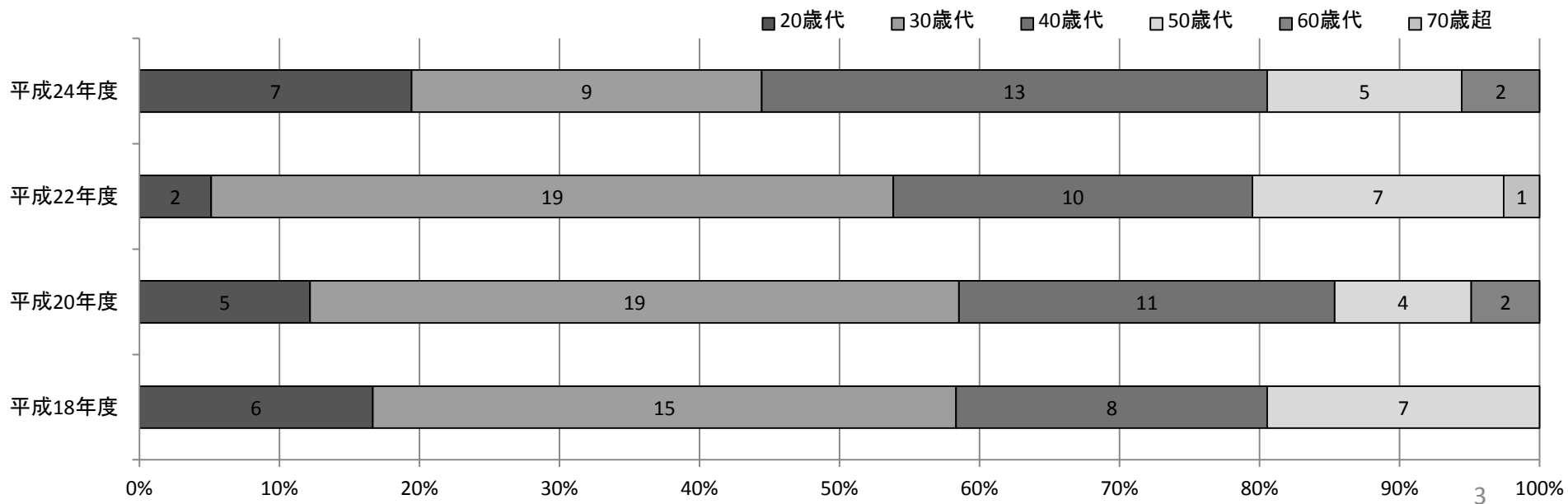
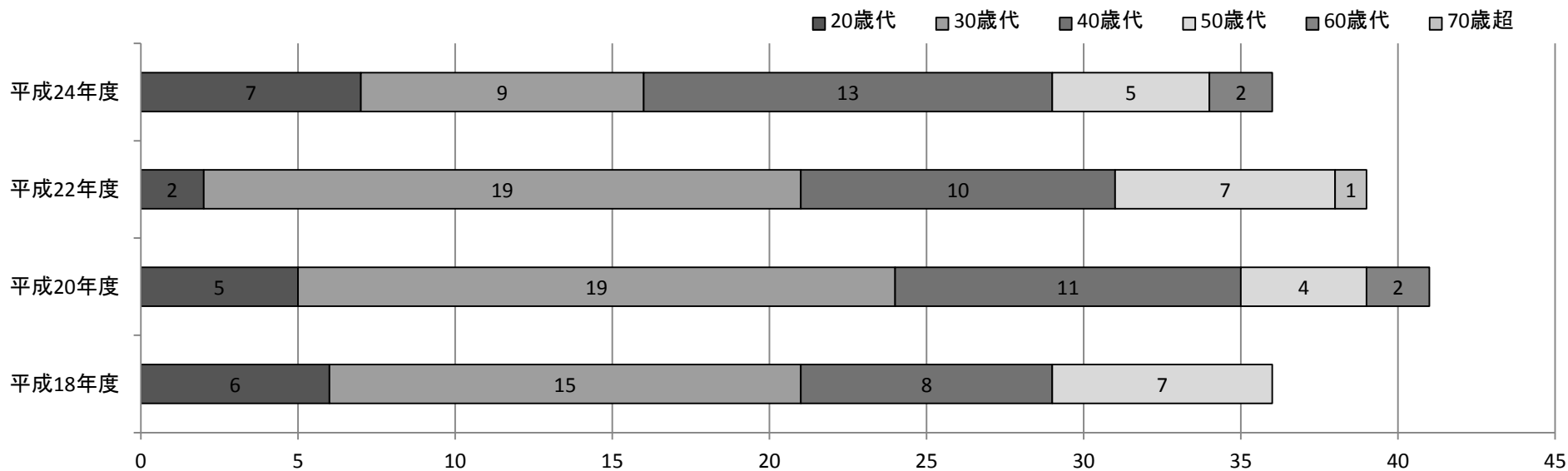
府立大学 経済学研究科(社会人選抜のみ)



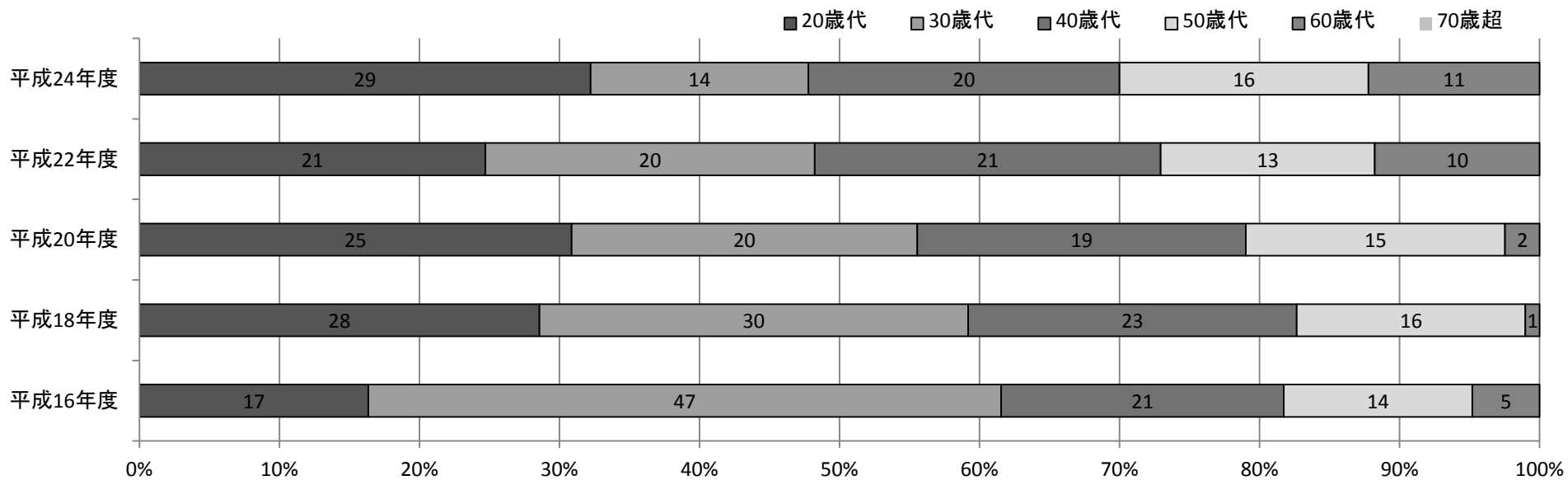
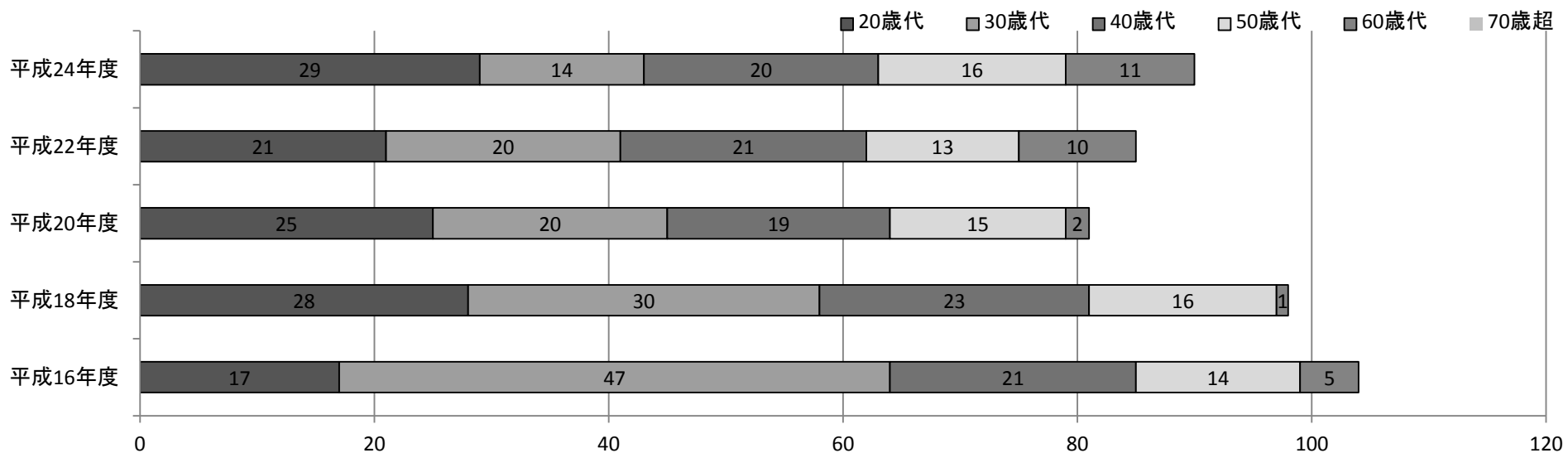
市立大学 創造都市研究科  
経営学研究科グローバルビジネス専攻



# 両大学院の入学者の年齢構成（府立大学 経済学研究科(社会人選抜のみ)）

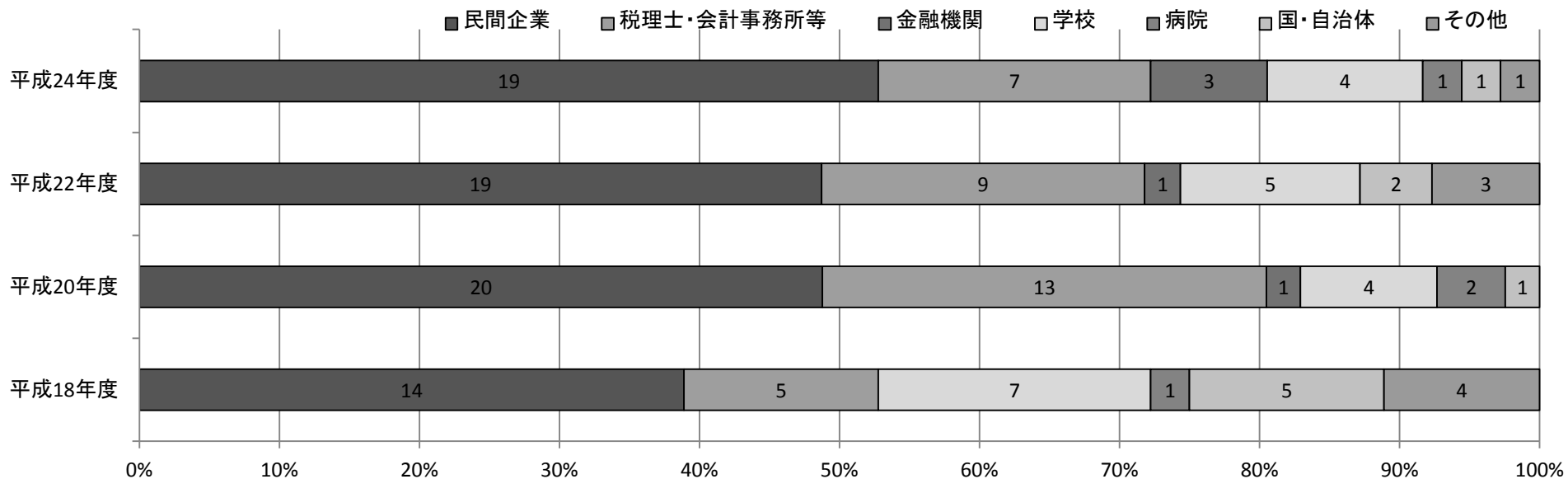
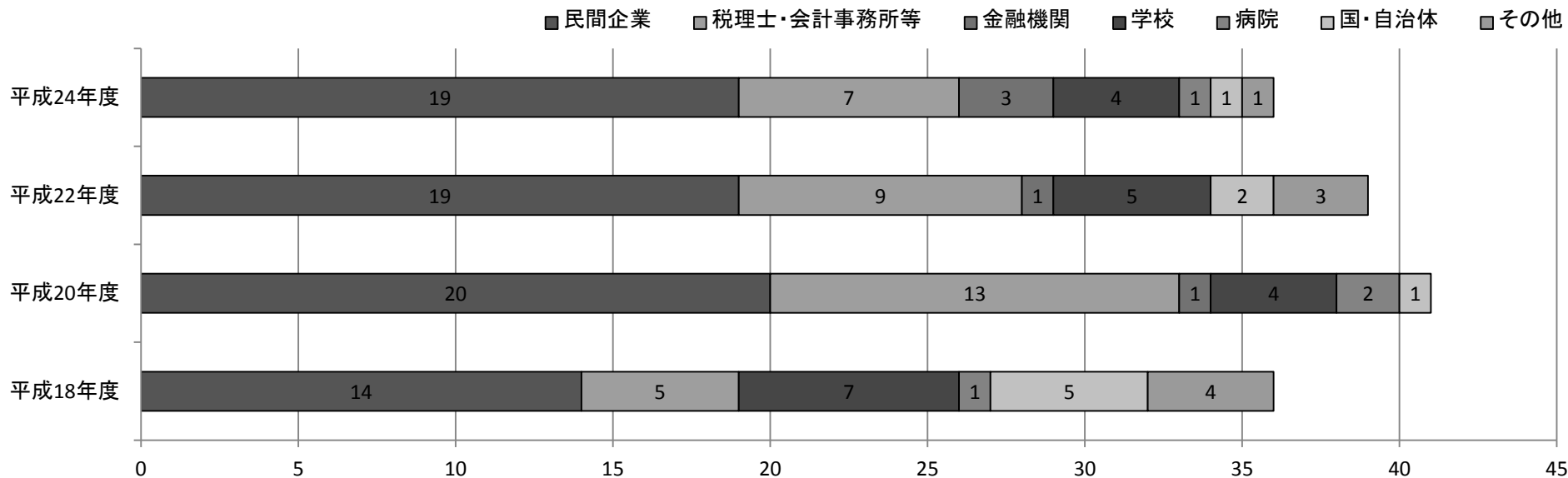


# 両大学院の入学者の年齢構成（市立大学 創造都市研究科（修士課程））

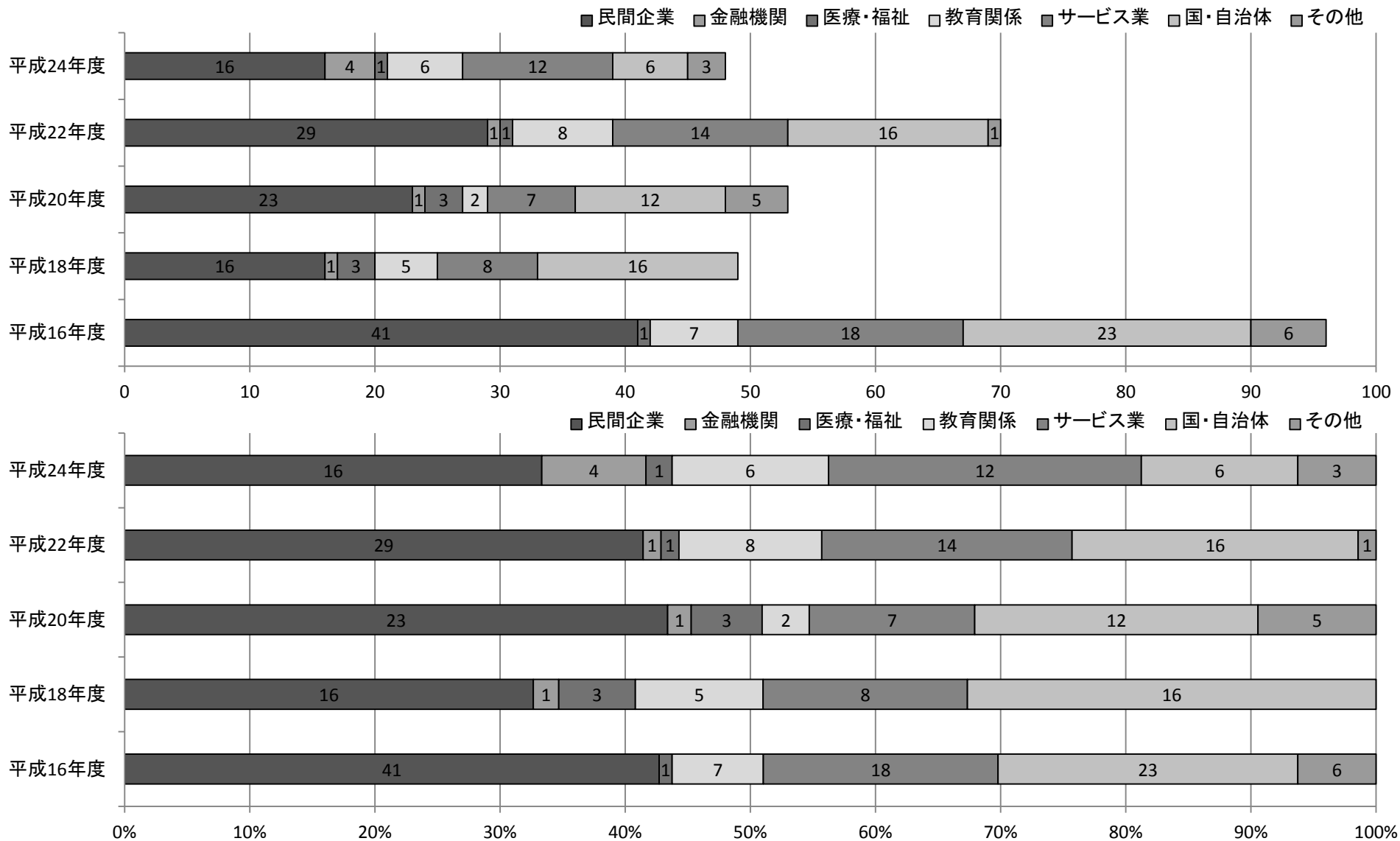


（備考）市立大学創造都市研究科には、ほかに「都市情報学専攻前期博士」があるが、この表からは除いている。

# 両大学院の入学者の勤務先構成（府立大学 経済学研究科（社会人選抜のみ））



# 両大学院の入学者の勤務先構成(市立大学 創造都市研究科)



(備考) 市立大学創造都市研究科には、ほかに「都市情報学専攻前期博士」があるが、この表からは除いている。

## 両大学院担当専任教員数、非常勤教員数（平成25年4月1日時点）

（単位：人）	教員区分	人数
府立大学 経済学 研究科 （社会人選抜 のみ）	専任教員 <small>〔ただし、学士過程 の教育も担当〕</small>	36
	非常勤教員★	66
	計	102
市立大学 経済学 研究科 グローバル ビジネス 専攻	専任教員 <small>〔ただし、学士過程 の教育も担当〕</small>	2
	特任教員	2
	非常勤教員★	12
	計	16
市立大学 創造都市 研究科	専任教員	34
	特任教員	2
	非常勤教員	40
	計	76

### 両大学合計

教員区分	人数(人)
専任教員	72
特任教員	4
非常勤教員	118
計	194

★府大経済学研究科と市大経営学研究科の非常勤には、それぞれ通年で授業を持たない（オムニバス形式の授業）者も1名としてカウントしている。



## 他大学との比較(国公立)

・大学院入試において社会人入試を実施しており、かつ教育課程が昼夜開講制である大学院のうち、専攻が経済・経営系、もしくは公共政策系である大学の比較。

	大府大	大市大	筑波大	神戸大	和歌山大	首都大学 東京	兵庫県立 大	名古屋市 大	北九州市 大
研究科	経済学研究科(社会人選抜のみ)	創造都市研究科	ビジネス科学研究科	経営学研究科(専門職大学院)	経済学研究科	社会科学 研究科経営学専攻 (高度職業人養成プログラム)	経営研究科(専門職大学院)	経済学研究科	マネジメント研究科(専門職大学院)
授業料 (年額)	535,800円	535,800円	535,800円	535,800円	535,800円	520,800円	535,800円	535,800円	535,800円
収容 定員	70	220	120 (経営システム 科学専攻60、 国際経営プロ フェッショナル 専攻・専門 職大学院 60)	138	84	80 (研究者養 成プログラ ム含む)	80	80	60
院生数	86	253	156 (経営システム 科学専攻79、 国際経営プロ フェッショナル 専攻77) ※H24	147	88	95 (研究者養 成プログラ ム含む)	100	74	58

(注)大学HP等での公開情報に基づき独自調査。収容定員・院生数は平成25年5月1日時点における博士課程前期のもの。

## 他大学との比較(私立)

・大学院入試において社会人入試を実施しており、かつ教育課程が昼夜開講制である大学院のうち、専攻が経済・経営系、もしくは公共政策系である大学の比較。

	早稲田大	明治大	グロービス 経営大学院	立命館大	関西学院大	早稲田大	明治大	中央大	関西大
研究科	商学研究科 (専門職大学院)	グローバル・ビジネス研究科 (専門職大学院)	経営研究科 経営専攻 (経営学修士)	経営管理 研究科 企業経営 コース (専門職大学院)	経営戦略 研究科 (専門職大学院)	政治学研究科 (専門職大学院)	ガバナンス研究科 (専門職大学院)	公共政策 研究科	ガバナンス研究科
授業料 (年額)	<例:2年制 夜間主総合 > 1,390,000 円	1,300,000 + 230,000円 (教育充実 料)	1,453,500 円	122,000円 (固定) 48,000円/ 単位*25 = 1,322,000 円	980,000円 (設備費等 含む。企業 経営戦略 コースの場 合。)	<例:2年制> 1,570,000 円	1,100,000 + 230,000円 (教育充実 料)	850,000円 (施設設備 費含む)	556,000円 (教育充実 費等含む)
収容 定員	390 (全日制含 む)	160	480	200 (企業会計 コース含 む)	400 (会計専門 職専攻含 む)	100	100	80	30
院生数	477 (全日制含 む)	163	1,190	74 (企業会計 コース含 む)	244 (会計専門 職専攻含 む)	54	128	41	16

(注)大学HP等での公開情報に基づき独自調査。収容定員・院生数は平成25年5月1日時点における博士課程前期のもの。  
グロービス経営大学院の院生数には、日本語パートタイム(1,086名)と英語IMBA(104名)の合計人数。

1. 大阪の経済社会の期待に応える公立大学としての使命を持つこと→人材育成目標(次頁)
2. 人材育成目標に適う学生の確保→存在感のある入学定員、授業料と入試審査基準によるハードルの設定
3. 人材育成目標に適う教育内容と教員確保→実践力を重視したカリキュラム構成、特命教員、実務経験ある教員の活用
4. 履修内容と人材育成の品質保証→履修成果、審査基準の公開、学生の授業評価の活用、認証評価機関の選定

## 社会人大学院の使命と人材育成目標

大学院の使命	提供すべき教育内容と人材育成目標
<p>《ニーズからの規定》                      (1) 大阪の社会人が新しい人生設計(知識・スキル・人脈・ステータス形成)のために行ってみたくなる大学院</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 専門的職業のための知識</li> <li>② 実践力(交渉力、説得力等)の形成</li> <li>③ 人脈形成に役立つ人と場の提供</li> <li>④ 修士ブランドと一定の資格(中小企業診断士、税理士、観光大使等)</li> </ul>
<p>《シーズからの規定》                      (2) 大阪の社会的使命に応える社会人人材育成を行う大学院</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 大阪経済を牽引することのできる経営人材(中小企業経営者、革新的技術開発者、観光と食文化経営者、ソーシャルベンチャー)</li> <li>② 大阪のための先行投資となる専門家人材(政策マン・行政マン、医療・福祉施設・ミュージアム経営者、教育経営者・教員)</li> </ul>

○

## 社会人大学院の専攻・分野と定員

専攻	分野	定員	理由
1. 企業 経営専 攻	①戦略系 ②マーケティング系 ③テクノロジー系 ④ファイナンス系 ⑤ソーシャル・ビジネス系	80	①スキルアップや人的ネット ワーク形成のため存在感ある 定員 ②自己教育投資に相応しい授 業料とバランスのとれる定員
2. 公共 経営専 攻	①政策系(行政、経済、財政、統計) ②経営系(経営、会計、統計) ③ミュージアム系(経営、マーケティ ング、財政、統計) ④医療・福祉系(統計、経営、制度)	40	①議会、行政、病院、美術館 等公的機関での専門家指向と 養成ニーズに応えうる定員 ②同上
3. 観 光・食文 化専攻	①観光系 ②食文化系	15	①新規開発すべき分野の専 門家養成のための定員 ②同上
4.		20	

## 履修方法と指導の単位

コース (受入れ規模)	履修単位構成	指導の単位	履修時間
1. 修士論文 作成コース (学生実員の 約50%)	①専門基礎(25%) ②ケーススタディ (25%) ③論文作成(50%)	①指導学生数の目 安:1学年3人/教員 ②専任・特命の区別 はないが、学生の選 択では専任が大きくな る想定。	基本的に月～金 の午後6:30～9: 30(2コマ)土曜 日9:30～午後5: 30(5コマ)
2. 実践的能 力開発コー ス(学生実員 の約50%)	①専門基礎(25%) ②ケーススタディ (25%) ③グループ研究 (25%) ④リサーチ・ペー パー(25%)	①指導学生数の目 安:1学年4人/教員 ②専任・特命の区別 はないが、学生の選 択では特命が大きくな る想定。	基本的に月～金 の午後6:30～9: 30(2コマ)土曜 日9:30～午後5: 30(5コマ)

## 教員構成と教員確保方法

教員の種別(人数)	担当	確保方法
専任教員 (30程度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>①専門基礎科目講義</li> <li>②専門科目講義</li> <li>③リサーチペーパー指導</li> <li>④修士論文指導</li> </ul>	内部の専任教員から確保。
実務経験者専任教員 (20程度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>①専門科目講義</li> <li>②ケーススタディ指導</li> <li>③リサーチペーパー指導</li> <li>④修士論文指導</li> </ul>	外部実務家および内部の専任教員から確保。公募による。
特命教員 (30程度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>①専門科目講義</li> <li>②ケーススタディ指導</li> <li>③リサーチペーパー指導</li> </ul>	外部実務家および他大学の専任教員から確保。公募その他による。
非常勤教員 (40程度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>①専門科目講義</li> </ul>	外部実務家および他大学の教員から確保。公募その他による。

※特命教員とは、講義と演習を週3回程度担当し、学生の進路指導も行う教員。企業経営者、個人事業者、他大学教員等から3年程度の兼業契約で採用する年俸制教員。

## 人材育成の品質保証

評価	内容	方法
入学試験と授業料	適切な動機づけとなる入学審査方法と授業料	今後、具体的に検討
学生による授業評価	論文・リサーチ指導以外は、学部における授業評価と同じ	授業評価GPA.GPCの公開
論文やリサーチペーパーの審査	主査・副査(2)合計3人体制	論文等および審査講評の公開
教員業績評価	ピア評価委員会による評価	ピア評価委員会による講評と指導
認証評価機関による審査	AACSB	「専門職大学院」とはしないが認証評価による信用力を重視